

平成26年度

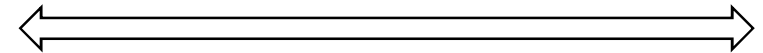
第二次なばり快適環境プラン実行計画
成果の総括表

- 総括表は、次のとおり記載しています。
(施策項目数337項目、その内25項目(網掛部)は計画がないため評価なし)

平成26年度 第二次なばり快適環境プラン実行計画成果の総括表

環境目標1 新しい時代を拓く、自立と協働による快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等				
(1) 市民の参画を求める	①団体づくりと支援	1				1 ●環境講座の充実と活用	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A	文化生涯学習室A			◎	◎
				1		2 ●環境保全団体の組織化と活動支援	環境保全担当C					○	△
		1				3 ●市民活動補償制度			地域経営室A			◎	◎
						4 ●エコポイント事業などの推進							
	②協働による地域づくり	平成26年度総合評価				5 ●各地域での快適な環境づくりの支援			地域経営室A			○	◎
						6 ●都市計画法の地区計画や建築基準法の建築協定、景観法の景観地区などの制度の活用			都市計画室B			○	○
						7 ●...						◎	◎



平成26年度各担当室における評価
 A: 順調に推進している
 B: 更なる推進が必要
 C: 取組が遅れている

実施状況の評価(平成26年度総合評価)
 ◎・・・概ね(75～100%程度)推進できた。
 ○・・・計画どおり(50～75%程度)推進中である。
 △・・・やや遅れている(25～50%程度)が推進中である。
 ■・・・未着手あるいは大幅に(0～25%程度)遅延している。

平成26年度 第二次なばり快適環境プラン実行計画成果の総括表

環境目標1 新しい時代を拓く、自立と協働による快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等				
(1) 市民の参画を求める	①団体づくりと支援	1				1 ●環境講座の充実と活用	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A	文化生涯学習室A			◎	◎
				1		2 ●環境保全団体の組織化と活動支援	環境保全担当C					○	△
		1				3 ●市民活動補償制度			地域経営室A			◎	◎
						4 ●エコポイント事業などの推進							
	②協働による地域づくり	1				5 ●各地域での快適な環境づくりの支援			地域経営室A			○	◎
			1			6 ●都市計画法の地区計画や建築基準法の建築協定、景観法の景観地区などの制度の活用			都市計画室B			○	○
				1		7 ●放置自転車や自動車駐車対策の推進			維持管理室B	都市計画室A		◎	○
	③個人活動への支援	1				8 ●環境保全に関する情報提供や機材の提供	環境保全担当A					○	◎
		1				9 ●自主的な環境活動への支援	環境保全担当A					◎	◎
	④団体間の連携	1	1			10 ●他の都市や関係団体・機関との交流と連携	環境保全担当B					○	◎
				1		11 ●市民団体と学校、大学との連携による環境学習と保全活動の推進			地域経営室B	学校教育室A		○	○
	⑤意識啓発(水質保全)	1				12 ●生活排水の適正処理の啓発	環境保全担当A					○	◎
		1				13 ●下水道施設や集落排水処理施設など生活排水対策施設整備の促進			下水道建設室A			◎	◎
		1				14 ●浄化槽等の適正管理の指導強化	環境保全担当A		上下水道営業室A			○	◎
		1				15 ●工場・事業所における排水規制等による水質の改善	環境保全担当A					○	◎
	(大気保全)	1				16 ●省資源、省エネルギー運動の推進		ごみゼロ推進担当A				○	◎
		1				17 ●野焼き行為の禁止の啓発とごみ処理の適正化指導	環境保全担当A					○	◎
	(ごみ対策)	1	1			18 ●ごみの発生抑制、分別排出の徹底		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B			○	◎
		1				19 ●ごみゼロリサイクル社会の実現に向けた啓発活動の推進		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	◎
						20 ●エコポイント事業などの推進							
	(ペット動物)	1				21 ●鳥獣愛護思想の普及啓発	環境保全担当A					◎	◎
		1				22 ●正しいペット飼育の情報提供	環境保全担当A					◎	◎
	(外来生物)	1				23 ●動物、植物、魚、昆虫などの外来種の適正管理	環境保全担当A					○	○
		1				24 ●外来生物法の周知と啓発	環境保全担当A					○	○
	(化学物質)	1				25 ●P R T R法対象事業所への情報提供	環境保全担当A					○	◎
		1				26 ●有害化学物質使用事業所への適正管理の要請	環境保全担当A					○	◎
		1				27 ●適正な化学物質ごみ処理の啓発の強化		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	◎
		1				28 ●家庭などで不要となった医薬品や医療用注射針・医療器具の適正な処理の啓発		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			○	○
		1				29 ●農薬とその容器の適正な処理の啓発			農林資源室A			○	◎
	⑥情報の収集と提供	1				30 ●環境に関する情報・資料の収集	環境保全担当A					○	◎
		1				31 ●収集した環境情報の市ホームページや市広報などへの掲載	環境保全担当A					◎	◎
		1				32 ●市民の環境活動の自主アピールの促進	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
合計	26年度各評価数	24	5	1	0	18		7	13	2	0		
	26年度評価割合%	80.0	16.7	3.3	0.0								

環境目標2 学んで知って実践する快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 学校における環境教育の充実に努める	①環境の教育充実	1				33 ●環境教育副読本の活用			学校教育室A			◎	◎	
				1		34 ●自然環境マップの作成	環境保全担当C					△	△	
		1				35 ●環境学習プログラムの作成			学校教育室A			○	◎	
		1				36 ●ITを活用した学習の学校間の連携			学校教育室A			○	◎	
		1				37 ●「学校環境デー（6月5日）」の取組の推進			学校教育室A			◎	◎	
					38 ●学校内緑化の整備			学校教育室A			◎	◎		
	②協働による環境教育の推進	1				39 ●PTAを対象にした環境教育の推進			学校教育室A			◎	◎	
		1				40 ●「総合的な学習の時間」の活用による環境教育の推進			学校教育室A			◎	◎	
			1			41 ●地域住民等の環境教育の場の提供	環境保全担当B		文化生涯学習室B	地域経営室A			◎	◎
		1				42 ●NPOや環境団体の協力による環境教育の推進		ごみゼロ推進担当A	学校教育室A	地域経営室A			○	○
	③自然に学ぶ環境教育の推進	1				43 ●自然観察や生き物調査の実施			学校教育室A			○	◎	
			1			44 ●親子環境学習会の実施	環境保全担当B					○	○	
			1			45 ●自然とのふれあいのある環境教育の実践	環境保全担当B					○	○	
			1			46 ●農山村との交流による体験学習の推進			農林資源室B			◎	◎	
			1		47 ●子どもエコクラブへの参加の促進	環境保全担当C		学校教育室B			○	○		
(2) 職場における環境教育を推進する	①職場での環境教育		1			48 ●環境マネジメントシステム（EMS）の取組み等による事業所内での環境にやさしい事業活動の実施	環境保全担当B		商工経済室C			○	○	
			1			49 ●従業員への環境学習の機会の充実	環境保全担当A		商工経済室C			○	○	
			1			50 ●事業者への環境保全に対する研修等の参加促進	環境保全担当A		商工経済室C			○	○	
		1				51 ●地域の環境保全活動への参加と支援	環境保全担当A					◎	◎	
	②学校や地域への支援協力等			1		52 ●事業所の環境学習等の情報提供	環境保全担当B		商工経済室C			○	△	
				1		53 ●施設の開放及び見学等の実施	環境保全担当B		商工経済室C			○	△	
			1			54 ●地域ボランティア活動への参加と支援	環境保全担当A		地域経営室B			○	○	
		1				55 ●遊びや体験を通じた環境学習の場づくり	環境保全担当A		文化生涯学習室A			○	◎	
(3) 地域における環境教育を推進する	①地域での環境教育の推進	1				56 ●遊休地などを利用した住民交流の場の整備			農林資源室A			○	◎	
			1			57 ●環境講演会などの開催	環境保全担当B					○	○	
			1			58 ●地域活動の各種団体での学習機会の提供			地域経営室B			○	○	
		1				59 ●地域の自然、歴史、文化の情報整理と提供			文化生涯学習室A			○	◎	
				60 ●地域資源の保護活動の実践			文化生涯学習室A			○	◎			
(4) 家庭における環境教育を推進する	①生活様式の転換	1				61 ●環境保全に関する学習会の開催	環境保全担当A					◎	◎	
		1				62 ●リサイクル活動など環境負荷の低減を図る取組みの実施		ごみゼロ推進担当A				◎	◎	
				1		63 ●新エネルギー対策事業などの紹介			商工経済室C			○	△	
			1			64 ●環境マークのついた商品購入への啓発	環境保全担当B					○	○	
	②家庭での環境教育の推進	1				65 ●親子で参加できる環境講座の開催	環境保全担当A					◎	◎	
		1				66 ●省エネ、省資源、リサイクル等に関する家庭での取組み	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A				◎	◎	
			1			67 ●環境家計簿の実践	環境保全担当B					△	◎	
		1				68 ●自然とのふれあいによる環境保全活動への参加	環境保全担当A					◎	◎	
						69 ●エコ事業（みえのエコポイント事業、名張市エコジョール事業）などへの参加と協力								

(5) 人材育成等の充実を図る	①指導者の養成 (学校では)	1			70	●学校教職員の環境教育研修の受講の推進			学校教育室B				○	○
	(事業所では)	1			71	●環境に配慮した事業活動のための研修の開催	環境保全担当B		商工経済室C				△	○
		1			72	●環境教育・学習に伴う人材育成	環境保全担当B						△	○
		1			73	●環境マネジメントシステム(EMS)の構築や推進のための研修会参加への啓発	環境保全担当B						△	○
	(地域では)	1			74	●NPOや環境団体が実施する保全活動への支援	環境保全担当B						△	○
			1		75	●三重県地球温暖化防止活動推進員の育成と活用	環境保全担当C						△	△
		1			76	●三重県環境学習情報センターが開催する環境学習指導者養成講座の活用	環境保全担当B						△	○
	②活動の拠点づくり	1			77	●市民活動支援センターの機能強化と設備の充実			地域経営室B				○	○
		1			78	●名張市教育センターでの環境関係資料や図書の充実			学校教育室B				△	◎
			1		79	●三重県環境学習情報センターなどの活用	環境保全担当C						○	△
合 計	26年度各評価数	19	20	7	0		27	3	28	1	1			
	26年度評価割合%	41.3	43.5	15.2	0.0									

環境目標3 水遊びや魚とりができ、生き物がすめる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価			
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等						
(1) 安全できれいな水を確保する(名張川の環境基準A類型の達成維持)	①安全な水の供給	1				80 ●水道水の安定供給の確保			水道工務室A			◎	◎		
		1				81 ●安全で良質な水の供給			浄水室A			◎	◎		
		1				82 ●健全経営の推進			経営総務室A			◎	◎		
	②生活排水対策		1				83 ●名張川水質保全計画の策定								
			1				84 ●下水道整備マスタープランの改訂及び下水道事業の推進			下水道建設室A			○	◎	
			1				85 ●合併浄化槽の普及			営業室A			◎	◎	
			1	1			86 ●浄化槽の法定管理の徹底			営業室B			○	○	
			1				87 ●河川・水路等の浄化対策事業の推進(しゅんせつ、清掃)			維持管理室A	農林資源室A			○	◎
	③工場・事業場排水対策		1	1			88 ●事前審査など行政指導の充実	環境保全担当B					○	○	
			1				89 ●環境保全協定などの締結	環境保全担当B					○	○	
			1				90 ●排水処理施設の整備促進	環境保全担当A					○	◎	
			1				91 ●公害防止管理の適正化	環境保全担当A					○	◎	
	④農薬・肥料対策		1				92 ●指導監視体制の充実	環境保全担当A					○	○	
			1				93 ●農薬、肥料の使用等、管理の適正化指導等			農林資源室A			◎	◎	
	⑤水質の監視		1	1			94 ●ゴルフ場の安全管理と監視体制の強化	環境保全担当B					○	○	
			1				95 ●水質監視測定の充実	環境保全担当A					○	◎	
			1				96 ●河川パトロール体制の充実	環境保全担当B			維持管理室B		◎	○	
			1		1		97 ●簡易水質調査の普及	環境保全担当B					○	○	
	⑥啓発と実践活動		1				98 ●環境カルテづくりの普及	環境保全担当C					△	△	
			1				99 ●市民意識の高揚	環境保全担当A					○	◎	
			1				100 ●環境教育の推進	環境保全担当A			学校教育室A		◎	◎	
(2) 水辺とのふれあいを大切にする(親水性のある水辺空間の再生)	①水辺の整備	1	1			101 ●快適環境づくりの実践活動の普及	環境保全担当B					○	○		
		1				102 ●水辺自然環境の保全			道路河川室B	農林資源室A			△	○	
		1				103 ●水辺緑化の推進			道路河川室B	農林資源室A			△	○	
						104 ●散策路、サイクリング道などの整備									
						105 ●河川公園、広場等レクリエーション空間の整備									
	②河川の浄化		1				106 ●親水性のある河川、水路改修工法の導入			農林資源室A			○	◎	
			1				107 ●築瀬水路の水量の安定確保			農林資源室A			◎	◎	
				1			108 ●植生、水生生物などの自然生態系の保全	環境保全担当B			農林資源室A			◎	◎
				1			109 ●ヘドロしゅんせつの促進			維持管理室B	農林資源室A			◎	○
				1			110 ●水路等浄化対策の推進	環境保全担当A			維持管理室B	農林資源室A			○
合計	26年度各評価数	15	12	1	0		15	0	17	5	0				
	26年度評価割合%	53.6	42.9	3.6	0.0										

環境目標4 空気が澄みきったきれいな快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) きれいな空気を確保する(大気環境基準に適合する)	①工場・事業場排出対策	1				111 ●工場等の新增設に対する事前審査等の充実	環境保全担当A		商工経済室A			◎	◎	
		1				112 ●公害防止協定等の締結の指導	環境保全担当A		商工経済室A			◎	◎	
		1				113 ●使用燃料、燃焼方式等管理の指導	環境保全担当A					○	◎	
		1				114 ●立ち入り調査の充実	環境保全担当A					△	◎	
		1	1			115 ●廃油、廃プラスチックなど産業廃棄物の適正管理		ごみゼロ推進担当B	環境衛生組合A			○	◎	
	②自動車等移動発生源対策	1				116 ●生活環境に配慮した公共交通機関の充実			都市計画室A			◎	◎	
			1			117 ●国道、主要県道等幹線道路網の整備促進			都市整備政策室B			○	◎	
		1				118 ●公共交通機関の利用促進			都市計画室A			◎	◎	
	③有害物質対策	1				119 ●公害防止施設の整備促進	環境保全担当A					○	◎	
		1				120 ●公害防止管理の適正化指導	環境保全担当A					○	◎	
		1				121 ●工場等立ち入り調査の充実	環境保全担当A					○	◎	
		1				122 ●P R T R法に基づく指導の徹底	環境保全担当A					○	◎	
	④大気の監視		1			123 ●常時監視測定局の増設	環境保全担当B					○	◎	
						124 ●大気汚染の総合システム整備及び運用								
	⑤啓発と実践活動		1			125 ●省資源、省エネルギーの推進	環境保全担当B					◎	◎	
		1				126 ●環境教育の充実、市民意識の高揚	環境保全担当A		学校教育室A			◎	◎	
			1			127 ●植物等による簡易測定手法の普及	環境保全担当B					○	◎	
			1			128 ●低公害車の導入			管財室B			◎	◎	
合 計	26年度各評価数	11	6	0	0					12	1	8	0	0
	26年度評価割合%	64.7	35.3	0.0	0.0									

環境目標5 安心して土とのふれあいができる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等				
(1) 安全な土壌を確保する	①土壌汚染の未然防止	1				129 ●有害物質を含む原材料、廃棄物の適正管理		ごみゼロ推進担当B				◎	◎
		1				130 ●農薬、肥料の使用、管理の適正化	環境保全担当A		農林資源室A			◎	◎
	②自然表土の保全と土壌の改良	1				131 ●優良農地や樹林地の確保と保全対策			農林資源室A			◎	◎
		1				132 ●開発行為を補う緑化の推進	環境保全担当A					◎	◎
		1				133 ●農地の土壌改良の推進			農林資源室A			◎	◎
	③土壌の監視体制の確立	1				134 ●土壌監視測定の充実	環境保全担当A					◎	◎
1					135 ●産業廃棄物等埋立地の周辺の監視	環境保全担当A		農林資源室A			◎	◎	
(2) 土とのふれあいの場を確保する	①家庭菜園等の普及	1				136 ●遊休市有地の開放			管財室A			◎	◎
		1				137 ●住宅地のあき地の活用							
		1				138 ●家庭菜園や花壇づくりの奨励			農林資源室A			◎	◎
		1				139 ●有機堆肥使用の奨励			農林資源室A			◎	◎
	②世代間の体験交流	1				140 ●農業や食をテーマとしたイベント交流の場の提供			農林資源室A			◎	◎
		1				141 ●親子米づくり体験の場の提供			農林資源室A			◎	◎
		1				142 ●親子芋掘り体験の場の提供			農林資源室A			◎	◎
	③遊休農地の利活用	1				143 ●園芸福祉等への活用			農林資源室A			◎	◎
		1				144 ●まちづくりと連携した活性化の検討			農林資源室A	地域経営室A		◎	◎
		1				145 ●遊休・荒廃農地の解消への取組み			農林資源室A			◎	◎
合 計	26年度各評価数	15	1	0	0		4	1	13	1	0		
	26年度評価割合%	93.8	6.3	0.0	0.0								

環境目標6 落ち着いた暮らしのできる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 生活に支障のない静けさを確保する	①騒音・振動発生源対策	1				146 ●工場等の新增設に対する事前審査	環境保全担当A		商工経済室A				◎	◎
		1				147 ●環境保全協定等の締結	環境保全担当A		商工経済室A				◎	◎
		1				148 ●公害防止施設整備等防音対策と融資制度の充実	環境保全担当A		商工経済室A				◎	◎
		1				149 ●建設作業に伴う騒音、振動の防止又は指導対策	環境保全担当A		農林資源室A	道路河川室A	維持管理室A		◎	◎
		1				150 ●道路構造の改良、防音壁の設置			営繕住宅室A	下水道建設室A			◎	◎
	②近隣騒音対策	1				151 ●近隣騒音に関する地域でのルール確立	環境保全担当A						◎	◎
		1				152 ●拡声器使用方法の適正化	環境保全担当A						◎	◎
		1				153 ●カラオケ、爆音機等の騒音対策	環境保全担当A		農林資源室A				◎	◎
	③騒音・振動の監視			1		154 ●騒音、振動測定と監視の充実	環境保全担当C						◎	△
		1				155 ●夜間騒音、交通騒音に対する関係機関との連携による抑制指導の強化	環境保全担当A		維持管理室A	下水道建設室A	道路河川室A		◎	◎
	④土地利用の適正化		1			156 ●都市計画法に基づく土地利用の適正化			都市計画室B				◎	◎
			1			157 ●土地利用マスタープランによる秩序ある土地利用の推進			都市計画室B				◎	◎
(2) 快適な音環境を豊かにする	①地域固有の音の保存			1		158 ●地域固有の音の実態調査	環境保全担当C						△	△
				1		159 ●快適な音の保存	環境保全担当C						△	△
	②自然の音を生み出す環境づくり	1				160 ●自然の音が聴こえる生活環境づくり	環境保全担当A						△	◎
(3) 悪臭による不快感を取り除く	①悪臭防止対策	1				161 ●発生源対策の指導強化	環境保全担当A						◎	◎
			1			162 ●浄化槽の法定管理の徹底			上下水道営業室B				◎	◎
	②香りの創出		1			163 ●森林機能の保全と緑化推進との連携			農林資源室B				◎	◎
合 計	26年度各評価数	11	4	3	0		13	0	12	3	2			
	26年度評価割合%	61.1	22.2	16.7	0.0									

環境目標7 緑と身近にふれあいができ、地域の個性を生かした快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度						24年度評価	25年度評価			
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等								
(1) 緑と空間のなかに生活を確保する	①身近な緑地の充実と管理			1		164 ●お年寄りから赤ちゃんまでが、安心して憩える市域の総合的な「ふるさとの杜づくり計画（緑の基本構想）」の策定								○	△		
						165 ●緑化協定、緑地保全地区の指定等の制度の活用											
			1			166 ●運動公園、自然公園、史跡公園など目的性を重視した施設の整備と管理の充実					文化生涯学習室A	観光交流室B			○	○	
		②緑のまちづくりの推進	1				167 ●緑化推進組織の整備、園芸福祉等の協働展開、イベントの開催					農林資源室A				◎	◎
			1				168 ●花いっぱい運動、生け垣設置など工場、家庭での緑化運動					農林資源室A				◎	◎
				1			169 ●公共施設や大樹、並木、街路樹などの適正管理					維持管理室B				○	○
						170 ●緑の質と量の把握及び経年データブックの作成											
		1				171 ●開発行為に伴う緑化の指導	環境保全担当A				建築開発室A				○	◎	
				1		172 ●「ふるさとの杜づくり計画（緑の基本構想）」の策定					都市計画室C				○	△	
	(2) 地域の個性を生かしたまちを確保する	①潤いのある都市景観形成		1			173 ●都市景観形成指針の策定					都市計画室C				○	△
					1		174 ●まちづくり協定、地区計画、建築協定による地域景観の整備					都市計画室B				○	○
						1	175 ●都市景観条例等制度の充実整備					都市計画室C				○	△
1						176 ●まちをきれいにする市民運動の展開	環境保全担当A								◎	◎	
			1			177 ●駅前、商店街、住宅地、農山村集落などそれぞれの個性を生かしたまちづくり					都市計画室C	観光交流室C	農林資源室A			○	○
					1	178 ●公共施設整備におけるアメニティ施策の導入（都市デザイン）					都市計画室C					○	△
						179 ●サイン計画（案内板、標識等の総合デザイン）の推進											
			1			180 ●屋外広告物の規制					維持管理室B					◎	○
②中高層住宅・建物の周辺への調和		1	1			181 ●放置自転車、違法駐車等の解消					都市計画室A				◎	◎	
		1				182 ●地区計画等による地域景観整備					都市計画室B					○	○
③皆で楽しめるみちづくり					183 ●名張市中高層建築物及び集合住宅の建築に関する指導要綱の徹底					建築開発室A				◎	◎		
	1				184 ●名張川堤防敷き、城下川等の周辺整備の継続												
					185 ●道路用地を活用した緑化、ポケットパーク等の整備						農林資源室A				△	◎	
合計	26年度各評価数	7	6	5	0			2	0	16	3	1					
	26年度評価割合%	38.9	33.3	27.8	0.0												

環境目標8 安心して暮らせる清潔できれいな快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等			
(1) ごみを減らし、有効利用する	①ごみの減量化対策	1				186 ●資源ごみの分別収集体制の促進	ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B			◎	◎
		1				187 ●ごみ減量化の普及啓発	ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B			◎	◎
		1				188 ●資源集団回収活動の促進	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1				189 ●市民団体の育成、支援等	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1				190 ●商品販売店、事業場等の包装紙、容器等の改善の遵守(使い捨て容器等の削減)	ごみゼロ推進担当A	商工経済室A			◎	◎
	②ごみの有効利用	1				191 ●生ごみ堆肥化の促進	ごみゼロ推進担当A	農林資源室A			◎	◎
		1				192 ●リサイクル運動の促進	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1				193 ●再資源化の普及啓発	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1				194 ●バザー等によるリユース運動の促進	ごみゼロ推進担当B	環境衛生組合A	商工経済室C		◎	◎
		1									◎	◎
(2) ごみ等を適正に処理する	①廃棄物の適正処理	1				195 ●ごみ出しルールの徹底	ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合B			◎	◎
		1				196 ●污水处理施設から発生するごみの適正処理	ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A	下水道維持室A		◎	◎
	②廃棄物処理施設の適正管理	1				197 ●清掃工場の適正管理		環境衛生組合A			◎	◎
		1				198 ●リサイクル施設の適正管理		環境衛生組合A			◎	◎
		1				199 ●伊賀南部浄化センター施設の適正管理		環境衛生組合A			◎	◎
	③産業廃棄物処理対策	1				200 ●産業廃棄物処理施設の整備に伴う融資制度、窓口相談等の充実			商工経済室A		○	◎
		1				201 ●工場、事業場における産業廃棄物処理計画の作成指導	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1				202 ●有害廃棄物の適正処理の指導	ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	◎
		1				203 ●廃油、廃プラスチックなど産業廃棄物の適正処理	ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A			◎	◎
		1				204 ●不法投棄防止のためのパトロール強化(県、警察との連携による監視)	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
(3) ごみ対策の支援制度を構築する	①ごみ処理支援	1				205 ●市民団体の育成、支援等	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1	1			206 ●ボランティア活動への支援等	ごみゼロ推進担当B				◎	◎
		1				207 ●ごみ分別サポーターの育成と支援	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
		1				208 ●環境委員活動の支援	ごみゼロ推進担当A				◎	◎
(4) まちをきれいにする	①散乱ごみ対策	1				209 ●まちをきれいにする運動の促進	環境保全担当A	ごみゼロ推進担当A			◎	◎
		1				210 ●空き缶、空きビンなどの分別・回収システムの充実		ごみゼロ推進担当A	環境衛生組合A		◎	◎
		1				211 ●ボランティア活動に対する支援等	環境保全担当A				◎	◎
		1				212 ●広報、看板等の啓発活動の促進	環境保全担当A				◎	◎
		1				213 ●監視員によるパトロール		ごみゼロ推進担当A			◎	◎
		1				214 ●関係行政機関、事業者との協力体制の確立		ごみゼロ推進担当A	観光交流室A		◎	◎
		1				215 ●ごみの持ち帰り運動の展開			観光交流室A		◎	◎
合計	26年度各評価数	25	5	0	0	3	23	16	2	0		
	26年度評価割合%	83.3	16.7	0.0	0.0							

環境目標9 安全かつ健康で住み良い快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度			24年度評価	25年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室	環境対策室以外の室等				
(1) 交通事故のない明るい暮らしを確保する	①交通安全対策	1				216 ●市民交通安全推進運動の促進		都市計画室A		◎	◎	
		1				217 ●交通安全教育の充実		都市計画室A		◎	◎	
		1				218 ●交通安全指導員の育成		都市計画室A		◎	◎	
		1				219 ●交通安全協力団体の育成指導		都市計画室A		◎	◎	
		1				220 ●交通事故多発区域の啓発		都市計画室A		◎	◎	
	②交通規制、駐車対策	1	1			221 ●駐車場、駐輪場の整備促進		維持管理室B		◎	○	
		1				222 ●効果的な交通規制の推進		都市計画室A		◎	◎	
						223 ●住宅地内での空き地の駐車場への活用促進						
						224 ●歩行空間の整備						
		1	1			225 ●道路放置物の撤去	環境保全担当A	維持管理室B	農林資源室A	◎	○	
	③公共交通					226 ●飲酒運転の追放		都市計画室A		◎	◎	
						227 ●近鉄大阪線の輸送力の増強の要請						
			1			228 ●近鉄駅周辺の整備構想の策定		都市計画室B		■	○	
			1			229 ●福祉バスの運行との連携充実		都市計画室B	高齢・障害支援室B	■	○	
		1				230 ●コミュニティバスの導入と運行の充実		都市計画室A		◎	◎	
(2) 食品等の安全を確保する	①食品等の安全確保	1				232 ●消費生活運動の推進		総合窓口センターA		◎	◎	
		1				233 ●地元産食材の活用		農林資源室A	学務管理室A	保育幼稚園室A	◎	◎
		1				234 ●安全食品の市民や学校給食への提供		学務管理室A			◎	◎
		1				235 ●農業使用の適正化の徹底		農林資源室A			◎	◎
			1			236 ●食材の適正表示の推進		総合窓口センターB	農林資源室A		◎	○
	②食品等への注意喚起	1				237 ●生産者による生産履歴記帳の推進		農林資源室B			○	○
			1			238 ●BSE対策（飼料・肥料の使用と解体後の適正処理）の推進啓発		農林資源室A			○	◎
						239 ●輸入食品の安全性確認のための情報提供		総合窓口センターB			○	○
		1				240 ●鳥インフルエンザなど新しい病疫への注意と警戒の周知	環境保全担当A	危機管理室A			◎	◎
		(3) 災害のない安全な暮らしを確保する	①自然災害の防止	1	1			241 ●名張川等の河川改修の促進		都市整備政策室B		○
1						242 ●老朽ため池の改修整備		農林資源室A			○	◎
	1					243 ●災害危険箇所の計画的な整備		危機管理室A	維持管理室B	農林資源室A	◎	◎
	1					244 ●防災意識の高揚のための啓発		危機管理室B			◎	◎
1						245 ●自主防災組織・ボランティアの育成		危機管理室A			○	◎
1						246 ●防災備品の充実		危機管理室A			◎	◎
②火災予防対策の推進	1					247 ●消防力の充実整備		消防救急室A			◎	◎
	1					248 ●中高層建築物の消防対策に合致した開発指導			消防救急室A		■	◎
			1			249 ●防災基盤整備計画の策定						
			1			250 ●防火意識の高揚を図る啓発活動の推進		消防本部予防室B			○	○
(3) 風水害・地震等の予防対策	③風水害・地震等の予防対策		1			251 ●消防団組織の充実		消防救急室B		◎	◎	
			1			252 ●火災予防の啓発促進		消防本部予防室B			◎	◎
						253 ●保水、遊水機能を持つ森林、農地の保全対策		農林資源室B			○	○
		1				254 ●透水性の舗装による歩道の整備						
		1				255 ●各地域の集会所、公園などを第一次避難場所としての整備		危機管理室A	地域経営室A		◎	◎
	④防犯対策	1				256 ●ガラス窓・瓦・看板などの建築基準法遵守の徹底		建築開発室A			○	◎
			1			257 ●街路樹やライフラインの点検整備と、復旧マニュアルの作成と演習		危機管理室A	維持管理室B		○	○
		1				258 ●避難予定場所の耐震補強の計画的な整備		危機管理室A			○	◎
			1			259 ●個人住宅の耐震診断の実施と耐震工事への支援		高齢住宅室B			◎	○
		1				260 ●住民への的確な情報伝達		危機管理室A	地域経営室A		◎	◎
④防犯対策	1				261 ●犯罪抑止のための広報や啓発活動の推進		危機管理室A			○	◎	
	1				262 ●地域の主体的な取組みに対する支援		危機管理室A	地域経営室A		○	◎	
	1				263 ●相談事業の充実		危機管理室A			○	◎	

環境目標10 自然と人とのやさしいふれあいのできる快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 自然景観を良好に保全し、自然とのふれあいを確保する	①土地利用の適正化	1				271 ●森林法、自然公園法、農業振興地域の整備に関する法律などによる地域指定の推進			農林資源室A	観光交流室A		◎	◎	
			1			272 ●土地利用マスタープランによる秩序ある土地利用の推進			都市計画室B			○	○	
	②野生生物への対策	1				273 ●鳥獣愛護思想の普及啓発	環境保全担当A						◎	◎
						274 ●鳥獣保護区、休猟区の指定			農林資源室 該当なし					
		1				275 ●天然記念物の保護			文化生涯学習室A				○	◎
				1		276 ●ホタル、カブトムシなどの小動物の生活圏の保護	環境保全担当C						△	△
					1	277 ●希少生物の保護	環境保全担当C						△	△
		1				278 ●外来生物の駆除	環境保全担当A						○	◎
	③身近な自然の確保			1		279 ●身近な自然探訪ネットワーク整備の推進	環境保全担当C			文化生涯学習室B			△	△
			1			280 ●古木や大樹の保存			文化生涯学習室B	都市計画室C			○	○
				1		281 ●寺社林等の保護・育成と緑の拠点づくり			文化生涯学習室B	都市計画室C			△	△
						282 ●巣箱づくり運動などの促進								
	④森林の保全対策		1			283 ●環境林などの指定			農林資源室B				○	○
			1			284 ●植林、伐採など森林施業の推進			農林資源室B				○	○
			1			285 ●生活環境保全林の整備			農林資源室B	維持管理室B			○	○
			1			286 ●市民等が参加する三重県の保全活動制度の活用	環境保全担当B						○	○
						287 ●自然樹木の育苗促進								
	⑤自然とのふれあい増進		1			288 ●自然観察・探鳥会などイベントの開催	環境保全担当B						△	○
			1			289 ●自然とふれあえる環境教育の実践	環境保全担当B			文化生涯学習室B			○	○
						290 ●遊歩道、休憩所などの施設整備								
					291 ●自然環境ボランティアやインタープリターの育成と活用									
1					292 ●都会と交流による体験学習の促進			農林資源室A				◎	◎	
⑥自然公園の整備	1				293 ●園内の建築物、工作物の修景整備			観光交流室A				○	◎	
		1			294 ●遊歩道、キャンプ場、ふれあい広場、サイクリング道などの整備及び施設管理			観光交流室B				○	○	
		1			295 ●各種イベントの開催	環境保全担当B			観光交流室A			◎	◎	
	1				296 ●ごみを『捨てない』『持ち帰る』などの環境美化運動の展開			観光交流室A				○	◎	
合計	26年度各評価数	7	10	4	0					9	0	15	4	0
	26年度評価割合%	33.3	47.6	19.0	0.0									

環境目標 1 1 歴史の趣を生かしてまちの個性を磨く快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価	
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等				
(1) 歴史文化的遺産の保護、保存、活用を図る	①文化財の保護、保存と活用	1				297 ●文化財標識等の整備による回廊づくり			文化生涯学習室A			○	◎
		1				298 ●郷土資料館の整備充実			文化生涯学習室A			△	◎
			1			299 ●史跡等の公有地化の推進			文化生涯学習室B			△	○
			1			300 ●史跡公園等の整備			文化生涯学習室B			○	○
			1			301 ●文化財愛護思想の高揚			文化生涯学習室B			◎	○
	②身近な歴史的文化的環境素材の活用	1				302 ●歴史的環境素材の調査及び公開			文化生涯学習室A			◎	◎
		1				303 ●地域が行う文化財講座等への支援			文化生涯学習室A			◎	◎
			1			304 ●文化財指定の推進			文化生涯学習室B			◎	○
	③伝統文化の伝承と活性化	1				305 ●地域の伝統文化振興への支援			文化生涯学習室A			◎	◎
		1				306 ●イベントなど住民参加の機会の確保			文化生涯学習室A			◎	◎
(2) 歴史的文化的遺産と調和したまちづくりを進める	①歴史的文化的遺産との調和	1				307 ●遺産周辺環境の整備			文化生涯学習室A			◎	◎
				1		308 ●地区協定、建築協定の推進			都市計画室C			○	△
				1		309 ●史跡等文化財の整備活用計画の作成			文化生涯学習室C			○	△
合計	26年度各評価数	7	4	2	0			13			0		
	26年度評価割合%	53.8	30.8	15.4	0.0								

環境目標12 望ましい地球環境を創造する快適環境づくり

施策の基本的方向	施策項目	実施状況の評価				具体的な施策項目	各担当室の評価 平成26年度				24年度評価	25年度評価		
		◎	○	△	■		生活環境部環境対策室		環境対策室以外の室等					
(1) 地球温暖化防止活動を積極的に進める	①温室効果ガス対策					310 ●エコポイント事業などの推進と支援								
			1			311 ●環境家計簿の推進と啓発	環境保全担当B					△	○	
				1		312 ●必要に応じての環境測定の実施	環境保全担当C					◎	◎	
		1				313 ●省エネ・省資源の徹底	環境保全担当A					○	◎	
			1			314 ●新エネルギー対策事業の推進（家庭用新エネルギー普及支援事業など）	生活環境政策室B		商工経済室C			○	△	
			1			315 ●事業者、市民などに対する意識啓発	環境保全担当B					○	○	
			1			316 ●代替フロン使用事業所への適正管理の要請	環境保全担当A					○	◎	
			1			317 ●法律に基づいた適正な排出処理徹底の啓発	環境保全担当B					○	○	
			1			318 ●畜産糞尿の適正処理の啓発	環境保全担当A		農林資源室A			○	◎	
			1			319 ●畜産糞尿処理施設整備の支援	環境保全担当A		農林資源室A			○	◎	
	(その他の温室効果ガス対策)		1			320 ●アイドリングストップの啓発	環境保全担当A					◎	◎	
				1		321 ●電気や車の使用を控え地球環境にやさしい行動となることの啓発	環境保全担当B					○	◎	
		②市の地球温暖化防止対策の推進		1			322 ●名張市地球温暖化対策実行計画の策定と推進	環境保全担当B					◎	◎
				1			323 ●クールビズ、ウォームビズの啓発と推進	環境保全担当A					◎	◎
					1		324 ●環境マネジメントシステム（EMS）の構築と運営	環境保全担当B					○	◎
							325 ●エコポイント事業などの推進と支援							
				1			326 ●地球温暖化防止活動などへの講座受講の促進	環境保全担当A					○	◎
		③市民などによる活動等への支援		1			327 ●地球環境保全活動への参加と情報提供	環境保全担当A					○	◎
			①地球環境保全対策			1	328 ●事業者、市民などに対する酸性雨の情報提供と意識啓発	環境保全担当C					△	△
						1	329 ●酸性雨の軽減のための情報提供	環境保全担当C					△	△
1					330 ●定期的な大気の測定の実施と結果の公表	環境保全担当A					○	◎		
(生態系の保護対策)				1	331 ●外来生物の調査実施	環境保全担当C					○	○		
			1	332 ●外来生物法の啓発	環境保全担当C					○	△			
	1			333 ●レッドデータブックに掲載された生物の保護の啓発	環境保全担当B		文化生涯学習室A			△	○			
(森林による吸収の促進)			1	334 ●地域内の野生生物の生育・生息地の保全	環境保全担当B					△	○			
		1		335 ●下刈り、枝打ちなどの適正な森林施業の促進			農林資源室A			○	◎			
			1	336 ●実なる樹木の植栽推進と保全			農林資源室B			○	○			
	1			337 ●森林への不法投棄と山火事の防止対策の推進		ごみゼロ推進担当A	消防本部予防室A			◎	◎			
合計	26年度各評価数	11	10	5	0		23	1	7	0	0			
	26年度評価割合%	42.3	38.5	19.2	0.0	担当室合計	128	36	206	32	6			

408

総計	26年度各評価数	184	100	28	0
	26年度評価割合%	59.0	32.1	9.0	0.0

平成26年度施策項目 合計337
その内、25項目（網掛部）は計画がないため評価なし

評価担当室408の内訳		
環境保全担当	ごみゼロ推進担当	その他の担当室
128	36	244